

# 自己評価結果等届出書

令和 8 年 2 月 27 日

鹿児島市長 殿

## 1 事業者（所）情報

事業者の名称 (法人名)	社会福祉法人 慶生会				
事業所の名称 (施設名)	児童発達支援事業所 ピコ				
事業所番号	4650000328				
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/>	児童発達支援	<input type="checkbox"/>	放課後等デイサービス	<input type="checkbox"/> 保育所等訪問支援
事業所の所在地	鹿児島市皇徳寺4丁目41-9				

## 2 公表状況

公表日	令和 8 年 2 月 27 日	
公表方法	1. 方法の区分 (プルダウンから選択)	ホームページ ↓ 2 にURLを記載
	2. 内容	<a href="https://www.keiseikai-kagoshima.jp/">https://www.keiseikai-kagoshima.jp/</a>
	<u>※公表をホームページ以外の方法で行っている場合には、公表している媒体の写しや事業所内の掲示箇所が確認できる写真等も添付すること。</u>	

## 3 自己評価事務担当者情報

担当者名	野村 桂子
連絡先 (TEL)	099-296-7559

※公表している自己評価表を添付すること。

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	ピコ		
○保護者評価実施期間	令和7年11月17日	～	令和7年12月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和7年10月1日	～	令和7年10月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p><b>○生活体験・社会体験の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・季節を感じる事ができる自然体験(遊歩道散策 川遊び どんぐり拾い など)</li> <li>・季節行事の実施(節句 お月見 凧揚げ 節分 など)</li> <li>・買い物体験活動</li> <li>・交通ルールを学ぶことができる</li> <li>・屋外での運動遊びによる体力増進</li> <li>・収穫体験活動(夏野菜収穫 いちご狩り ミカン狩り など)</li> <li>・施設見学・公共の乗り物体験(警察署 消防署 郵便局 バス・電車体験 など)</li> <li>・法人内行事(運動会 発表会 夕涼み会 遠足)</li> <li>・食育活動(クッキング 月1回以上)</li> <li>・専門講師等による豊富な体験活動(太陽スポーツ・積木教室)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設近くに自然豊かな遊歩道があり春は桜並木、秋は紅葉や木の実拾いなど季節の変化を感じることができる。</li> <li>○節句のお祝いや季節行事などを親子で楽しめるように企画実施している。</li> <li>○周辺に横断歩道、信号、歩道橋などがあり就学に向けて交通ルールを学ぶ機会になるよう設定している。</li> <li>○周辺に公園での運動遊びや遊歩道の散策などを実施し体力増進を図っている。</li> <li>○観光農園や法人内の畑、近隣の収穫体験施設などで旬の食物の収穫体験を企画・実施している。</li> <li>○交通アクセスの利便性を生かして生活に関係する施設見学を多く設定している。</li> <li>○法人全体での大規模行事を設定している。</li> <li>○毎月一季節の食材や行事食のクッキング体験を実施し食への興味関心を高められているようにしている。</li> <li>○各専門講師による体験活動を実施している。</li> <li>運動あそび(太陽スポーツ) 知育活動(つみき教室) など</li> <li>○外部講師を招いての体験活動を企画・実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○季節ごとに体験できる事象を把握し製作活動なども運動した活動になるように設定する。</li> <li>○収穫体験と調理活動を運動して行えるように年間計画を設定する。</li> <li>○実際に道路を歩くだけでなく、KY訓練等も取り入れた取り組みを行う。</li> <li>○それぞれのお子様の課題に即した運動あそびを設定する。</li> <li>○施設見学を通して自分の生活と関連付けながら学びを深めることができるようにする。</li> <li>○親子療育の充実を図っていけるよう企画・実施していく。</li> <li>○運動会や発表会などの機会を設けご家族で楽しんでいただけるようにする。</li> <li>○食育活動の内容の充実を図り食への興味を高めるとともに専門職とも連携しながら食事についてのニーズや課題にそった支援ができるようにする。</li> <li>○専門講師の方と連携を図り、お子様それぞれの発達段階に応じた支援が行えるようにしていく。</li> </ul>
2	<p><b>○個別療育の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月2回の個別療育の実施</li> <li>お子様の発達や課題に沿って知育・操作性・運動の3分野を中心に個別活動を実施</li> <li>設定日以外についても必要に応じて個別の時間を設定している</li> <li>・専門職による療育の実施</li> <li>歯みがき教室(DH)ことは相談(ST)からだタイム(PT)</li> <li>・ABA療育の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各専門講師による体験活動を実施している。</li> <li>運動あそび(太陽スポーツ) 知育活動(つみき教室) など</li> <li>○外部講師を招いての体験活動を企画・実施している。</li> <li>○定期的な併用通園している幼稚園・保育園と情報交換会を開催しお子様の状況や支援方法の情報共有を図り、連携した支援を行えるようにしている。また、ご家族や園の先生方のご希望にそって療育見学・相談も随時実施している。</li> <li>○法人内の児童発達支援センターと連携しながら必要に応じて関係機関と連携できるようにしている。</li> <li>○必要に応じて関係機関との情報交換を行い連携した支援ができるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研修や資格取得を推進し職員の専門性向上を図りよりよい支援を行えるようにしていく。</li> <li>○定期的な情報交換会だけでなく保護者や園の要望に応じて併用している幼稚園・保育園をお子様の発達状況や支援の方法について情報共有できるようにする。</li> <li>○個別支援計画の支援計画と運動できるようにしていく。</li> <li>○児童発達支援センター開催の連絡会へ参加し他事業所との情報交換等をはかっていく。</li> </ul>
3	<p><b>○交流活動の実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内の成人施設との交流</li> <li>季節行事を中心に他事業所との交流活動を実施(夏祭り 敬老の日 ハロウィン もちつき など)</li> <li>・地域イベントの実施</li> <li>地域の方も参加できるイベントを中山エリアで実施(ふれあい動物園 夏祭り ウィンターフェス 等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○複合型施設である同エリアの中山複合福祉施設・中山児童館の各事業所との合同イベントを通して幅広い世代の方との交流を行っている。</li> <li>○季節ならではの行事をみんなで楽しむことで社会性を育くめるように取り組んでいる。</li> <li>○今年度より地域の方も参加していただけるイベントを年数回実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○交流事業所との情報共有をはかり利用者・児がともに楽しめるようにしていく。</li> <li>○地域の方への広報を積極的に行いさらに多くの方に参加したくことで地域と福祉をつなぐイベントとなるように企画運営していく。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職(作業療法士・理学療法士・言語聴覚士・歯科衛生士・ABAトレーナー)との連携を強化する	○エリアごとの配置になっており各専門職と日程を調整しながら実施しているため回数に限られている。	○月1回、各専門職の訪問指導の設定している。訪問前後に利用児のニーズ、課題、状況(支援方法)等についてカンファレンスを行い指導内容に即した支援になるよう活動設定個人目標を立てるようにしていく。
2	送迎サービスのさらなる充実を図る	○単独事業所であること、立地の関係から送迎可能な時間、距離によって通園曜日、回数などを設定している。	○送迎希望についてご家族や園と相談させていただき調整できるようにしていく。 ○ご希望に沿った送迎サービスの実施ができるよう送迎コースや応援体制の見直しを行っていく。
3	個別指導のさらなる充実をはかる	○個別(1~2人)指導の活動を設定しているがさらに充実していく必要がある。	○個別指導の設定を週1回ほどになるように次年度計画中。また、専門職の訪問指導と組み合わせながらお子様のニーズ、ご家族のご意向にそった課題内容になるようにしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ビコ

公表日 令和8年 2月 27日

利用児童数 11名

回収数 11名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11					お子様の活動スペースについては基準以上の設置を行っております。活動内容に応じて療育室、遊戯室など活動場の設定させていただいております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11					職員については基準値以上の配置をしております。また、必要に応じて応援体制を整えております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11					幼児用トイレなどお子様が使いやすい設備とともに視覚支援などを用いてお子様にもわかりやすいような環境設定の工夫をしております。また、活動の用途ごとに活動場所を設定しております。必要に応じて個別の支援を行っております。今後お子様の発達に合わせ環境設定を随時見直しして参ります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11					活動スペースについても用具の配置等を工夫し十分な広さが確保できるよう工夫してまいります。感染対策を実施しながら日常の清掃、整理整頓に心がけておりますが、お気づきの点等ございましたらお申しつけください。
適切な 支援 の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11					月に1回の職員研修や外部研修等を行い専門性の向上を図れるようにしております。今年度よりABA療育トレーナーをお招きしより専門的な支援ができるように取り組まさせていただいております。また、専門職の訪問指導を定期的の実施しお子様の発達特性に応じた支援を行えるようにしております。本年度は食育指導に力を入れており、歯みがき教室と連携して取り組まさせていただいております。お子様の様子が気になることがありましたらいつでもお申し出ください。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11					支援プログラムについてはホームページにて公表させていただいております。ご質問等ございましたらいつでもお問い合わせください。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11					アセスメントを元に専門職の意見も聞きながら作成させていただいておりますが、お子様の発達の状況に変化等があった際には、適宜、見直しさせていただきましますのでお申し付けください。今後もより細やかにお子様の発達特性や課題、ご家庭のニーズに沿った支援計画の作成に努めてまいります。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11					ガイドラインに提示のある項目について、お子様それぞれの発達状況やニーズに応じた目標を立てさせていただいておりますが、ご意向の変更等ありましたらお申し出ください。

	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11				お子様一人一人の目標に向けて、職員一同取り組んでおります。誕生日を基準として半年に一度は見直しを行い、お子様の発達に合わせた支援に努めて参ります。個別支援計画の作成にあたっては職員間で意見を交換しながら検討を重ね作成させていただいております。作成した支援計画についてご意向の変更等ありましたらお申し出ください。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11				お子様の発達状況や興味関心に合わせて、カリキュラム設定を行っております。また、食育活動や生活体験の充実をはかり豊かな体験ができるよう計画させていただいております。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	1		2	特定の園との交流はおこなっておりませんが地域の方を対象とした体験イベントを年に数回実施させていただき地域の方々との交流ができるように設定させていただきました。次年度以降も定期的に地域イベントの設定をさせていただきより交流を深めていけるようにしてまいります。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11				契約時にご説明させていただいておりますがご質問等ありましたら事業所職員までお問合せください。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11				契約時にご説明させていただいております。また、誕生日を基準に半期ごとの面談や担当者会議等おきまして支援内容の説明をさせていただいております。ご不明な点等ございましたらお声かけください。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	1			今年度は年2回の家族会での講演会やABA研修会など保護者様が参加できる機会を設けさせていただきました。次年度以降も様々な研修の機会を提供できるよう努めてまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	11				日常の申し送り、連絡帳にて、日々の共有に取り組んでおりますが、今後もさらに、ご家族との課題共有ができるように、努めて参ります。電子連絡帳の運用を開始したことでタイムリーにご相談やご連絡ができるとお喜びの声をいただきました。今後もお子様の状況をしっかりとご家族と共有できるように努めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11				誕生日を基準に半期に1度は保護者様と面談をさせていただいております。また、ご希望に応じて専門職との相談も随時設定させていただいております。お子様の育ちについて気になることがありましたらいつでもお声掛けください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11				お子様ひとりひとりの特性やご家族のご意向、お悩み等に寄り添った支援を心がけておりますが気になることがありましたらお申し出ください。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	1		2	今年度は春と秋に2回家族会を設定し実施させていただきました。また、定期的にイベントを実施させていただきご兄弟も一緒に楽しめるプログラムの設定もさせていただいております。次年度も定期的にも実施させていただきますので是非、ご参加お待ちしております。よろしくお願いたします。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11					ご相談については随時面談などの設定をさせていただいております。必要に応じて言語聴覚士等専門職との面談設定などを行っております。ご相談がありましたらいつでもお声かけください。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11					連絡帳や申し送りを通してお子様の様子などをお伝えできるように努めております。また、ご意見、ご相談についてはお電話や対面で直接お話を向かわせていただいております。お気づきの点がございましたらお声かけください。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11					急ぎの共有事項に関しては現在「さくら連絡網」「あるふぁみー斉連絡」を使用しながら配信させていただいております。また、SNSで定期的に活動の様子等の発信をさせていただいております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11					個人情報の管理に関しては、今後も徹底し行って参ります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10			1		事業所における各マニュアルを策定させていただいております。設置場所や記載事項の疑問点などございましたら事業所職員にお尋ねください。また、災害時の避難訓練については安全防災委員会・リスクマネジメント委員会において実施をおこなっております。エリア全体のBCP机上訓練等も実施しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			1		訓練については毎月1回はお子様と職員と一緒に行っております。また、年2回の消防参加のエリア避難訓練に参加し安全意識の向上をはかっております。今後も様々な想定を行い、命を守る訓練を行って参ります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11					お子様の安全が担保されるよう計画されてますので、ご不明な点は職員までお尋ねください。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11					事故が発生した場合には保護者および関係機関に速やかに報告をさせていただいております。また、事故検証を行い再発防止策を講じております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11					安心して通園していただきありがとうございます。今後もお子様たちが安心して通園を楽しみにしていただけるよう環境設定や支援方法を日々検討しながら職員一同取り組んでまいります。不安に感じることがありましたら職員にお声掛けください。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11					楽しく通園できているのご意見ありがとうございます。お子様一人一人が楽しみながら取り組み、それぞれの課題にそった発達支援プログラムを提供できるようにしていくとともにお友達との交流を深め笑顔で過ごせるような場になるように今後も職員一同努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11					お子様の状況に応じて食育支援、個別支援等柔軟に対応できるよう通園希望等をご相談しながら設定させていただいております。また、お子様ひとりひとりに合わせて活動内容にそった支援を行わせていただいております。ご家族の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。これからもお子様とご家族に寄り添った支援を続けてまいります。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	ピコ	公表日	令和8年 2月 27日
------	----	-----	-------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動内容やお子様の特性に応じて活動スペースの設定をさせていただいております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		配置基準にそって職員配置をさせていただいておりますが個別対応など柔軟に対応できるように法人内で調整しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		お子様が自分で確認しながら取り組めるように手順表の設置など環境設定を工夫させていただいております。今後もより使いやすい空間になるように見直しを随時してまいります。	道路に隣接している施設の為、出入り口付近の安全確認を徹底しております。また、段差のある場所がありますので特性に応じて適宜環境設定を行うようにしております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		感染対策を実施しながらお子様が過ごしやすいよう清掃、整理整頓を実施させていただいております。	マークや指示線など視覚支援や動線と意識した配置などお子様の実態にそった環境設定を常に検討していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて個別で対応できるようにしております。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎日のミーティングや月1回の職員会議等を利用して業務改善に努めております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向け評価表でいただいた保護者様からのご意向・ご意見をもとに改善を図り、ご報告をさせていただいております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月職員会議を設定し意見交換を行っております。職員との1on1ミーティングを定期実施し職務や業務の改善を図っております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価は本年度実施いたしておりませんが今後検討しております。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		年2回の法人の研修、毎月の児童支援課内の研修と職員会議等で随時研修を行っております。また、必要に応じて外部の研修も参加しております。	研修に参加できなかった職員へのフォロー研修のさらなる充実を図るようにしてまいります。
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し公表させていただいております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		個々のお子様に対して事前アセスメントを行いお子様、保護者それぞれのニーズや課題をとらえ作成をおこなわせていただいております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援計画については職員会議等で内容を検討しお子様のニーズやライフプラン等を考慮して作成させていただいております。	関係機関の方々などお子様にかかわる方々との情報共有、連携した支援が行えるよう担当者会議等を適宜実施してまいります。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		児童発達支援計画については職員会議等で内容を確認・検討・フィードバックを随時実施させていただいております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメント表での状況評価や日々のケース記録等を用いてお子様ひとりひとりの状況把握に努めております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインのねらい及び支援内容を踏まえながらお子様それぞれ支援項目を設定しニーズや課題にそって具体的に支援内容を設定させていただいております。	

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムについては計画立案、実施、フィードバックをおこなっております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		生活体験や食育プログラム、お子様の課題にそって多様なプログラムを設定させていただいております。今後も楽しく取り組める内容を検討してまいります。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		お子様のニーズや課題に応じて個別の時間と集団活動の時間を設定しております。	個別課題については専門職（PT/OT/ST/DH等）とも連携をとりより専門的な支援ができるように努めてまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日、朝礼でミーティングを行っております。活動リーダーを中心に役割分担を行い連携した支援を行えるようにしております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼にてその日の支援の振り返りをさせていただいております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		ケース記録をして日々の記録をとっております。記載内容については職員間で朝礼・終礼等で共有し検証・改善を行えるようにしております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		誕生月を基準に半期ごとにモニタリングを実施し支援計画の見直しをしております。定期での見直しだけでなくお子様のニーズの変化に合わせて適宜設定させております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		会議にはお子様の支援内容や発達状況を把握している職員が参加させていただいております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて関係機関との情報交換会や担当者会議等を設定し情報共有を行い連携した支援ができるようにしております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		年2回の幼保連絡会を実施しております。併用先の園での様子やお子様の特性に応じた支援の提案等を行わせていただきながら連携した支援が行える様に努めております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		小学校情報交換会を就学先と設定し実施させていただいております。実施時期については就学先のご意向を聞きながら設定しております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			今年度は法人の代表者が参加させていただいております。次年度以降参加の機会があれば参加させていただきたいと考えています。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		法人内の児童発達支援センターと日頃から情報交換を行い、支援方法や事業所運営について助言をいただいております。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		法人が実施しているイベントに地域の方々にもご参加いただきました。次年度以降より交流が図れるよう企画内容を検討してまいります。	通園しているお子様方全員が保育所や認定こども園、幼稚園等との併用の為、日々の交流がある事から当事業所としての交流は今のところ行っておりません
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日頃のミーティングや職員会議にて共通理解を図っております。	

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			年2回の家族会を行っておりますが、出席頂くとご家族が少なく、今後も周知をしていきたいと思っております。ペアレントトレーニングについては本年度は実施できておりませんが次年度以降実施できるよう検討させていただいております。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時にご説明をさせていただいております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		支援計画作成前に事前アセスメントをさせていただきお子様や保護者のニーズ等を確認し課題に沿って優先すべき観点を検討させていただいております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		支援内容の説明を面談にて丁寧に行い保護者様の同意を得ております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的な面談だけでなくご家族のご要望等に応じて専門職も交えながら面談を設定し必要な助言等をさせていただいております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		本年度は家族会や専門職との座談会、保護者参加の研修会等を実施しております。次年度以降も内容を充実し実施予定です。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談の申し入れがあった場合にはすぐにその場で直接もしくはお電話にて相談内容を確認させていただいております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月の活動予定表やホームページでお客様の活動の様子や行事予定等をお知らせさせていただいております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		今後も十分に留意してまいります。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お客様の発達特性に応じてハンドジェスチャーや絵カードなどを用いて意思疎通が図れるようにしております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		法人施設と合同で地域交流イベントを実施させていただいております。さらに充実した企画になるよう次年度も計画してまいります。	利用児・者の方々と地域の方々が交流できる場となるように企画内容の検討・充実をはかれるように各部門との連携をはかっていけるようにしていきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルにそった避難訓練や机上訓練を実施いたしております。また、施設内掲示等で確認していただけるようにしております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPの策定をし毎年度見直しを行っております。また、消防立ち合い（または通報訓練）の避難訓練を年2回実施しております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		利用開始時のアセスメントにて服薬や予防接種の状況について確認させていただいております。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーのあるお子様については病院でのアレルギー検査結果や対応についての指示書を事前に確認し栄養士と確認の上食事提供をさせていただいております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全管理については職員会議にて定期的に研修させていただいております。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に取り組み内容等について説明させていただいております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットや事故については事業所だけでなく法人内で再発防止も含めて周知を行っております。	

52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎月会議を行い、職員全員で虐待防止に努めてます。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		本年度は対象となるお子様はいらっしゃいませんでした。身体拘束については身体拘束適正委員会を毎月開催させていただいております。やむを得ず身体拘束を行う場合は説明を行い十分に了解を得たうえで児童発達支援計画に記載を行い、経過の確認をしながら随時見直しを行っております。	